

研推だよりNo.15



令和4年
9月15日
研究推進部会

今週から高学年を皮切りに**タブレットの持ち帰り**が始まります。ほかの自治体に比べればかなり遅い持ち帰り解禁となりますが、ここから東久留米の持ち帰りモデルが固まっていき、定着していくことでしょう。持ち帰りには使用上の約束事や破損・保障面の心配事などもありますが、**児童の学びが広がりを見せ、私たち教員の授業デザインも様々な可能性が生まれてくるという良い面**にも目を向けてメリット・デメリットを確認して行きたいですね！

さて、2学期1回目の授業が来週に迫りました。詳しい予定をこちらに載せておきますので、ご確認ください。

0 「研究授業」から「話題提案授業」へ

今回より校内研究のための授業の名称を「**研究授業**」から「**話題提案授業**」と変更します。その目的は「授業を参観する私たち教員一人一人が、授業から学ぶ」という意識をより強くもてるようにするためです。」授業者の実践そのものについて「どこがよくなかった。もっとこうすればよい」ということを協議の中心に据えるのではなく、「この場面ではこういった方法でやってみてもいいのでは？」「自分だったらこうやってみる」という視点を全員がもって協議に臨む。授業はそのための「話題提案」である、という位置づけで考えていきたいと思えます。

1 第3回話題提案授業（すずかけ分科会 福樹先生）

◎今回からの変更点

- ① **分科会提案は前日の夕会までに分科会より提案**する。研究に迫る手立てを中心に、授業当日に特に話題にしてほしい部分を焦点化して伝える。
- ② **指導案は前日までに C4th で共有**する。どのような状態でもいったん共有する。
(その後変更があった場合は紙ベースの指導案で変更したものを配付する)
- ③ 指導案の押印は管理職＋講師の3部のみ。後は押印省略。
- ④ 校長先生の講師紹介はカット。
- ⑤ 講師の先生のご講演は30分間。

★Point★
確認をお願いします

①役割分担の確認

- ①**授業を行う分科会**（すずかけ分科会）は、**前日までに分科会提案や授業の見どころを先生方に周知し、当日は授業準備および授業記録（VTR）と協議会での自評**を行う。
- ②**次に授業を行う分科会**（中学年分科会）は、**協議会準備および授業と協議会の記録**を行う。

② 第3回研究授業の役割分担

分担	準備する内容	メモ（担当決めやリマインダとしてご活用ください）
すずかけ分科会	<input type="checkbox"/> 授業準備	
	<input type="checkbox"/> 授業記録（VTR）	
	<input type="checkbox"/> 分科会提案（前日までに）	
	<input type="checkbox"/> 自評	
中学年分科会	<input type="checkbox"/> 協議会次第	
	<input type="checkbox"/> 協議会記録（PCに直接入力）	
	<input type="checkbox"/> プロジェクタとPC準備	
	<input type="checkbox"/> 協議会場（PC室）の整頓	

※1…校内表示（講師の下駄箱等）は副校長を中心に準備する。

※2…講師の先生用のおしぼりやお茶の用意（校長室用）は、主事さんをお願いする。

③ 日時、場所 講師：東京女子体育大学 准教授 石出勉先生

時刻	内容	場所
研究授業		
13:25～ ※他のクラスは 13:10完全下校	第3回研究授業 総合「ぼくのニセモノをつくるには」（教材名） 授業者：福柁実奈子（すずかけ高学年）	1F すずかけ 4組教室
研究協議会		
14:20～ (9分)	ROUND1（グループ協議） ・予めくじ引きで分かれていたグループごとに協議	2F PCルーム
14:29～ (1分)	校長挨拶（校長先生）	
14:30 (10分)	ROUND2（グループ協議） ・ホストを残して席替えし、新しいグループで協議 ・ホスト役の先生はそれまでの協議の経緯を説明する	
14:40 (10分)	ROUND3（グループ協議） ・元のグループに戻って協議 ・出された話題について成果と改善案を短冊にまとめる	
14:50 (20分)	FINAL ROUND（全体協議） ・協議の視点に沿って、各グループの話題を共有していく。 ・作った短冊はすべて発表する。 発表は1人1枚までとし、できるだけ多くの人が発表できるようにする。	
15:10	指導・講評（石出先生）	
15:40	謝辞（副校長先生）	